

FUKUI DAIZU 情報

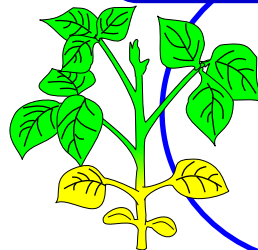
福大豆 No.5

6月22日に北陸地方が梅雨入りしてから降雨の日が続いています。排水対策を徹底し、圃場が乾いたところから遅れずに培土作業に取り掛かりましょう。畝間除草剤の散布を計画している圃場も遅れずに散布を行いましょう。

1. 7月の重点作業ポイント

- 1回目の培土作業(本葉3～4葉期)を行いましょう。
- 雑草の発生状況に応じて除草剤の散布を検討しましょう。
- 2回目の培土作業(本葉5～6葉期)を行いましょう。
- 7月下旬には基幹防除(殺虫剤:プレバソンフロアブル)を実施しましょう。
- 梅雨明けまでは排水対策を実施しましょう。

現在の生育状況



播種時期や圃場状態で生育差が大きい

- 草丈: 短い
- 葉色: 淡い

降雨(湿害)により、葉の黄化が見られる

2. 里のほほえみ、高収量・高品質へのポイント

今年は、播種直後の少雨(土壤水分の低さ)による生育遅れ(生育差)が見られます。圃場排水を徹底し、雑草の状態や土壤水分を考慮して各作業を実施しましょう。

培土栽培

培土作業

培土作業はM型にならないよう株元にしっかり土をかけ、山型に！

除草剤散布は
散布時期に注意！

培土・密植栽培

除草剤散布

雑草の生育状況に注意して散布。

多雨により、雑草の生育が旺盛になっています。培土栽培は、培土作業と併用しながら。狭畦密植は、散布タイミングに注意しましょう。

【除草剤】

- 大豆バサグラン(広葉雑草)
- ホルトフロアブル(イネ科雑草)

雑草にしっかり散布する。

培土・密植栽培

追肥

湿害の影響を受け、生育が少ない、葉色が薄い圃場は追肥を散布。

【窒素成分: 3kg/10a】

- アグリフラッシュ: 20kg/10a
- 単肥: 尿素・硫安など

3. (県域)雑穀『収量アップ』研修会、(県域)大豆作見会の開催について

ソバ・麦類の収量向上を目的に、県域での雑穀『収量アップ』研修会を開催します。R6年産麦類の収量と栽培状況を確認し、排水対策の再確認、ソバ・麦類の適正播種を学びます。また、同日の午後からは、大豆の県域作見会を開催します。大豆の生育状況を確認し、今後の栽培管理で収量アップを目指しましょう。

● 日時 : 7月24日(水)10:00～16:30

● 場所 : 福井北部低温倉庫(福井市川合鷺塚町9-41)

● 研修会協力: 農事組合法人ハーネス河合

雑穀(収量アップ)研修会

そば食べ比べ

大豆作見会

午前

10:00～12:00

- ①R6麦類の状況について
- ②排水対策について
- ③ソバ・麦類の播種について
- ④農機・肥料・農薬展示

昼食

12:00～13:00

午後

13:00～16:30

巡回コース
福井→坂井→丹南

★研修会には、参加申込が必要です。参加申込は担当営農指導員まで